



がらがらどん

ニュースレター 2020年 5月(号外)

発行；小倉バプテスト教会
牧師；山本龍一郎
編集；嶋田涼美(責任者)、山本佐智子
島由美、大庭博子(当月担当)
TEL：093-521-2862
Email：kokuracc@yahoo.co.jp
Website：kokuracc.com/



今月の絵本

「ひとりぼっちのオルガン」

文：しおたになおや 文：イタクラヨウイチ
訳：渡部富栄 (保育社)



もうだれも来ることがなくなった村の教会。そこにはオルガンがうち捨てられていました。季節は巡っても、オルガンはずっとひとりぼっちです。いろいろな人が来ては、オルガンを弾いていきますが、自分の思うような音が出せません。長い間悩み続けたオルガンは.....

メディアARというアプリを使って絵本から音楽が聴けます！

「ピーターとオオカミ」

文：森安 淳 絵：降矢なな ペテル・ウフナール
曲：セルゲイ・プロコフィエフ (借成社)



勇敢な少年ピーターが、森から現れたオオカミを捕まえるお話。2019年の夏、音楽祭「セイジ・オザワ松本フェスティバル」でプロコフィエフ作曲の「ピーターと狼」のオーケストラ、語り、スクリーンに映し出された絵のコラボコンサートがありました。「聴く絵本」として大変な話題をよんだ、その絵が絵本になりました。

「メロディ」だいすきなわたしのピアノ

作：くすのきしげのり 絵：森谷明子
(ヤマハミュージックメディア)



新品のピアノと女の子との関わりを通してピアノの一生が描かれています。ピアノは弾いてくれる人がいて生きるのです。そして生まれ変わることもできるのです。本の中に音楽記号も出てきて楽しめます。

2020年5月のがらがらどんは中止になりました。

(予定の開催日 5月30日)

新型コロナウイルス感染拡大の状況から、4月に続き5月の集まりもお休みさせていただきました。

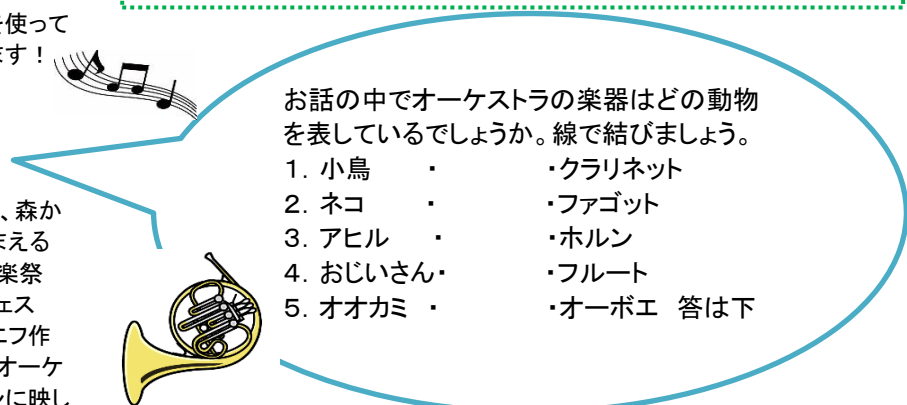
5月のテーマ：こんな時こそ音楽と共に 5月の聖書



「この世で富んでいる人々に命じなさい。高慢にならず、不確かな富に望みを置くのではなく、わたしたちにすべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。」
テモテへの手紙一6章17節

メッセージ

新型コロナウイルスに世界中が震撼してから数ヵ月、今もウイルスは広がり続けて誰もが、この先どうなってしまうのだろうかと不安な気持ちで過ごしています。長きに亘って迫害され続けたキリスト教の歴史の始まりは、ローマや西アジアにあります。現在のトルコの Cappadocia には紀元17年頃、迫害者から逃れるために多くのキリスト者が岩山の穴の中に隠棲し、その暮らしは12世紀まで続いたそうです。そのような人たちの暮らしと、私たちの暮らしを比較しても仕方がないのですが、現代人は、快適で便利な社会生活だけを幸せとする価値観となり、本来の人間らしい自然な暮らしのスタイルを捨ててしまったように思えます。晴耕雨読、素朴で単純な暮らしこそが、人間にとって幸せと思いながら、今は私なりに巣ごもり生活を楽しんでいます。明日の事は思い煩うなと、神様は言っておられますので、明日は大丈夫だと信じつつ、クラシックギターも弾いてます。(山本先生)



お話の中でオーケストラの楽器はどの動物を表しているでしょうか。線で結びましょう。

- | | | |
|----------|---|--------|
| 1. 小鳥 | ・ | クラリネット |
| 2. ネコ | ・ | ファゴット |
| 3. アヒル | ・ | ホルン |
| 4. おじいさん | ・ | フルート |
| 5. オオカミ | ・ | オーボエ |
- 答えは下

ペンテコステは、今年5月31日でした。なんの日？

イエスが復活した日(イースター)：十字架上の死から3日目
イエスが天にのぼった日(昇天日)：イースターから40日目
ペンテコステ(聖霊降臨日)：イースターから50日目 弟子たちに神様とイエスからの贈り物、聖霊が与えられた日なのです。
そして今、私たちにも聖霊が与えられるのです。

7月読書会のテーマ「お祭り」

コロナ感染状況を踏まえて行いたいと思います。

7月25日(土) 12:00～親子の集まり

参加費お1人 100円(ランチ付)

おとなの集まり7月15日(水)1:30～

- 答え 1. フルード 2. クラリネット 3. オーボエ
4. ファゴット 5. ホルン